

矢部あらた

新

25歳

くにたちに新たな風を



プロフィール

- 1997年8月3日生まれ。神奈川県厚木市育ち
- 神奈川県立平塚中等教育学校卒業。上智大学文学部哲学科中退
- 派遣労働などをへて、2022年6月から日本共産党国立市議団事務局員・北多摩中部地区委員会勤務員
- 趣味 喫茶店や古書店巡り、読書、落語鑑賞
- 谷保在住



住友たまみ市議

担当地域交代

富士見台3、中3、西3

高原幸雄市議からバトンタッチ

11期44年、市民の皆様から多大なるご支援とご協力いただきありがとうございました。ひきつづき皆様のご支援とご協力を矢部あらたさんへ、ぜひともよろしくお願いいたします。

市議会議員 高原幸雄



頑張ります!

矢部あらたの公約

【子ども・若者】

- * 学校給食の無償化 * 奨学金支給（市独自）の実現
- * ひとり親家庭への家賃補助の増額
- * 国民健康保険税・子どもの均等割りの負担軽減・減免を

【環境】

- * 有機フッ素化合物（PFAS）の実態把握や対策の推進を
- * 気候危機対策……国立市の目標引上げ。公共施設の省エネ・再エネ活用の促進

【介護】

- * 「24時間介護」を早朝や深夜も市内でできる体制づくりを推進…ケアラー支援条例の制定
- * 介護従事者の家賃補助制度（単身者向け）を単身者以外にも拡大を

【コロナ対策】

- * 保健所機能の強化、いつでもどこでも無料でPCR検査の推進

【ジェンダー平等】

- * 包括的性教育の早期からの実施。リプロダクティブ・ヘルス/ライツの普及・促進

【高齢者】

- * 補聴器購入補助制度の導入を
- * 特養ホームの増設

【フリーランス・中小企業】

- * インボイス制度の中止

【地元】

- * 市内の駅へのホームドア設置を…狭い歩道など道路安全対策の強化
- * はげ下にコミバス実現を * 富士見台団地の家賃引き下げを
- * オスプレイの国立市上空の飛行中止

- * 岸田自公政権の「大軍拡」ストップ!…9条生かす平和の外交を



新しい力を加えて
日本共産党

Japanese Communist Party

3人をひきつづき市政に



矢部あらたさんと一緒に
私も頑張ります

日本共産党参議院議員
吉良 よし子



あみの二也



住友たまみ



矢部あらた

3人のチームプレーで
頑張ります!

●ご意見・ご要望は……

メール：yabelonsky@gmail.com

TEL：042-576-1629

私の決意

私はこれまで、経済苦を抱えながら真剣に学ぶ学生や家庭内暴力から逃れてきた人、社会運動に取り組む若者など、さまざまな人々に出会ってきました。

また、差別や貧困がむき出しになった事態と何度も直面し、その度に自分にできることから取り組んできました。

こうした中で、私たちの暮らしを取り巻く多くの困難と、政治の問題が切っても切り離せないことを強く感じてきました。すべてがお金儲けや生産性といった物差しで測られるこの時代に、どうしたら未来への希望を取り戻せるか。私がたどり着いた答えは、政治をもっと身近にすることです。

ひとりひとりの声で政治を動かす、そんな民主主義の基本をつらぬくことで、誰もが自分らしく希望を持って暮らせる街を作る。これが私の目標です。皆さんと一緒にこれからの国立市を創っていくために、市政に挑戦します。

矢部あらた

矢部あらたさん 紹介コーナー

しょうがいのある家族とともに生きて



矢部さんは目が全く見えない父親や、重病で寝たきりの弟とともに育ちました。父親はしょうがいをもちながらも、クロスカントリースキーやパソコンなど、いろいろなことに挑戦する人です。しょうがいをもちながら生きることの苦勞とともに、何事にもあきらめずチャレンジしていくことが大切だと学びました。

また、人それぞれにその人なりの困難があること、その困難は社会のあり方によって少なくしてけると考えるようになりました。



貧困・差別の現場で学ぶ



矢部さんは中学や高校時代に、カンボジアや韓国にホームステイをし、貧困で体の成長が明らかに遅れている子どもなどに衝撃を受けました。

またヘイトスピーチ（差別扇動行為）に憤りを感じ、抗議行動に自ら参加したこともありました。

大学では学内新聞を発行する部活動に励み、その後経済的に苦しい学生たちで寄り合うシェアハウスの運営にも携わったこともありました。

差別や格差の広がる社会の矛盾を実感するとともに、社会的な属性や生まれ育った環境に関わらず、すべての人がそれぞれの人生を懸命に生きていることを学んできました。

「住民とともに政治を変える党」と入党

矢部さんは、ヘイトスピーチ（差別扇動行為）への抗議行動に日本共産党の地方議員が積極的に参加していたことから、共産党に信頼を持つようになりました。また知り合いの共産党員から入党の誘いを受け、「住民とともに政治を変える活動を、草の根で行っている党の一員として活動を行いたい」と考え、2019年に日本共産党に入党しました。



矢部さんに期待します！

異なる考えとも向き合う誠実さ



意見が異なる相手にも誠実に向き合っていたことが印象的です。考え方が違う同輩と深夜まで公園で対話し、相手を感じさせていた彼の姿をよく覚えています。相手を言い負かすための議論をする人が目立ち、分断が叫ばれる時代にもっとも必要なのは広い視野で丁寧に人と対話できる矢部くんのような若者だと思います。

茂木響平（バー経営・文筆業）

人権問題で行動した経験生かして

しょうがい者や外国人といった人々の人権問題などに関心を持ち、行動されていた矢部さん。私はマイノリティの方の弁護活動を担当することもあります。現状の法律や制度に限界を感じる事が少なくありません。そうした社会の制度を良くするために、矢部さんに政治の現場で頑張ってもらいたいです。 Tさん（都内在住・弁護士）

率直さと優しさを併せ持つ

頼み事をするとすぐ手伝ってくれる。でも言うべきは、はっきり言う。そして何より、優しいんです。閉塞感に満ちた今の社会に新しい風を吹かすには、温かく行動力ある矢部くんが必要です。 Iさん（27歳男性・文筆業）

周りの意見を受け止めながらしっかり主張

大学時代から温厚さ、優しさは周囲の中でも断トツで、また何よりも自身の政治信条を大切にされる人でした。様々な場所に顔を出し、個々の人・場所・集団の価値観を汲みながらも自分の意見を表出していける人だと思います。行動に嘘があればざらりと本音が出てわかるものだと思いますが、矢部さんの以上の在り方は5年近い付き合いの中で一度たりとも揺らがなかったように思っています。

S. Tさん（25歳女性・シェアハウス運営）

市議団事務局員として市議とともに願い訴える

人体に有害な有機フッ素化合物（PFAS）汚染水問題は、市民の安全と健康を第一に対応するべきと考え、共産党市議団の一員として市に実態調査や対策強化を求める要望を2月20日に実施。



昨年9月には、学校給食の無償化を文科省に申し入れました。

1月24日、都に脱炭素施策の負担が低所得層へ転嫁されないようにすることなどを訴える。



矢部あらたさんを推薦します（50音順）



窪田 之喜 三多摩健康友の会会長 弁護士

川田 キヨ子 三多摩福祉会理事（谷保在住）

多和田 栄治 富士見台団地自治会役員（第二団地在住）

土屋 邦美 一級建築士（第一団地在住）

広瀬 寿和子 新婦人の会国立・親子リズム（谷保在住）

岩下 明夫 社会医療法人社団健生会医科事業部部長（富士見台3丁目在住）

山田 裕子（中3丁目在住）

山本 彩希 谷保駅前相互診療所事務長

吉田 健一 三多摩法律事務所 弁護士（富士見台2丁目在住）